

NPO法人パルク (豊川市)

取り組んでみて

よかったこと

- ・JAが、スプレーマムの挿し芽作業場所（農家）や作業日をマッチングするので、福祉施設の事務が軽減でき大変助かっており、農福連携の推進には、こうした仲介組織が必要。
- ・障がい者には、施設外で働くことが好評でステータスとなり、一緒に働いている人達の評価が良い刺激。



作業場での挿し芽作業



工夫していること

- ・同一作業でも農家や作業環境によって手順や方法が多少異なるので、指導員が作業内容を正しく理解し障がい者に伝えることが重要。
- ・工程の多い作業をこなせずに戸惑い、作業が継続できないこともあるため、障がい者の個性に合った作業内容や環境を選定することが必要。
- ・障がい者の年間作業を平準化するため、農閑期の作業を常に探しておくことが必要。

今後の目標 農福連携拡大

障がい者の農作業への適応性を踏まえつつ、スプレーマムの定植作業等の施設外就労を取り入れる等、農福連携の拡大を図りたい。

<概要>

連携型（福祉施設）

- ・NPO法人パルクは、障がい者を社会の一員として包み込むマチ、誰もが支えあい認め合うマチの広場として、豊川市内で就労継続支援B型事業所（定員20名）及び地域活動支援センター「エコハウス」、児童発達支援事業所「樹・たつき」等を展開。
 - ・B型事業所「エコハウス」では、施設外のスプレーマムの挿し芽※、にんじんの検品・袋詰め、鶏糞堆肥の運搬・散布作業等の請負や自主製品として販売する黒米の栽培補助、施設内の大葉やオクラの袋詰めなど、作業の中心は農業分野。
- ※「JAひまわり」の事例参照

きっかけ 農作業を主力に

- ・「エコハウス」の黒米の生産・販売を機に、農作業に力を入れ始め、施設内で大葉やオクラの袋詰め、施設外でにんじんの袋詰め作業を受託開始。
- ・令和2年からは、JAひまわりの紹介で共同育苗施設及び3戸の農家でスプレーマムの挿し芽の施設外就労を実施。

障がい者に合わせて

- ・大葉の作業は、障がい者10名程度が袋詰め、計量、再計量、箱詰めの役割分担した流れ作業で1日40～50箱（1箱30袋）を作製。
- ・スプレーマムの挿し芽作業等は、トイレ（和・洋）などの施設や農家ごとに異なる作業に適應できる障がい者3名程度に指導員1名が付き添い従事。



大葉の袋詰め作業

パルクからの

メッセージ

障がいがあっても地域で働きたいと思っている方に、この地域で盛んな農業に係る仕事を増やしてきました。彼らが地域の力になり、住み慣れたマチで幸せに生きていくことを目指して支援していきます。

(株)グリーンフィールド (豊川市)

取り組んでみて

工夫していること

- ・キクラゲの出荷作業では、障がい者の個性に合わせ、洗浄、検品、パック詰め、計量、シール貼り、段ボール詰めなどを作業分担。
- ・キクラゲの形、厚み、大きさ、傷、やぶれのチェックをする検品は難しく、迷うような事例は、その都度見本を見せて全員に周知。



検品・パック詰め等の作業場



パック詰めされた
キクラゲ

よかったこと

スプレーマムの挿し芽作業等、施設外で働くことは、障がい者のステータスやモチベーションの向上となるほか、地域の人々とも交流ができ、社会に前向きに興味を持てる良い機会。



スプレーマムの挿し芽作業

今後の目標 農福の拡大

- ・施設外就労の機会を増やすため、挿し芽だけでなく、苗の定植などの農作業請負にもチャレンジしていきたい。
- ・農作業の求人情報として、障がい者向け求人紹介サイトなどのマッチングサービスがあるとありがたい。



在宅作業中に手作りハンコで
作成したお年玉袋

<概要>

- ・(株)グリーンフィールドは、豊川市内で就労継続支援B型事業を運営し、利用者は26名。
 - ・キクラゲの生産・出荷作業を全面受託し、障がい者が、施設内で選別、検品、パック詰めほか、施設外でスプレーマムの挿し芽※など農作業を中心に活動。
- ※「JAひまわり」の事例参照

連携型（福祉施設）

きっかけ 他施設での経験

【キクラゲの出荷作業】

同社の社長は、障がい者がキクラゲの出荷作業を行う他福祉施設での勤務経験をもとに独立し、(株)グリーンフィールドを開設。同社施設内で、障がい者がキクラゲの洗浄からパック詰め作業を実施。



キクラゲ生産用ハウス

【スプレーマムの挿し芽作業】

令和元年度から、JAひまわりのマッチングにより、スプレーマム農家で挿し芽の施設外就労を実施。



栽培中のキクラゲ

グリーンフィールドからの

メッセージ

- ・農作業請負は、障がい者が社会と関われる貴重な機会なので、チャンスがあればどこの福祉施設でも施設外就労の場として利用したいのではないかと思います。
- ・農家の皆さん、施設内外で様々な作業にチャレンジする障がい者の姿を見てください。農福連携へ踏み出す不安や心配は、施設職員がしっかりサポートいたします。